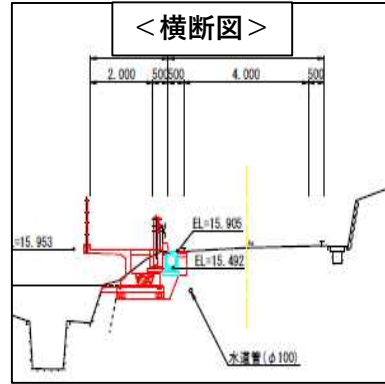
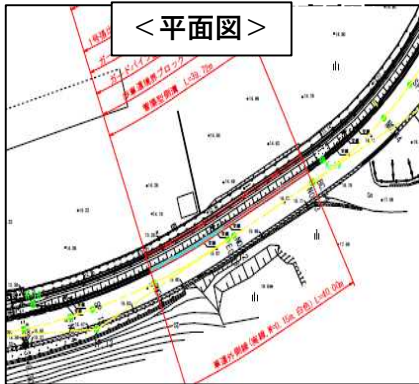


# 令和3年度 建設業デジタル化促進モデル事業現場見学会（有限会社芸東建設）

<デジタル化促進モデル事業の実施内容> 導入機器：自動追尾型 T S（杭ナビ）、3次元設計データ作成ソフト（サテック3D）

<参加者> 15名（建設会社：6社12名、市町村職員：3名）

<工事概要> 工事名：令和3年度 市道北生線 道路改良工事  
 請負代金：16,544,000円、工期：令和4年6月8日～令和4年11月14日  
 張出歩道工 L = 39.0m 側溝工 L = 39.7m 防護柵工 L = 80.0m  
 ※ICT活用工事ではない



## 施工者のコメント

従来は、起工測量を現場技術者2人と作業員2人で行っていましたが、各員1人ずつで行えるようになり他の作業に回せるようになった。  
 出来形計測について、従来は2人で行い、計測位置を出すために細かな作業が必要であったが、杭ナビを用いることで、端末に現位置が表示され、計測をスムーズに行うことができた。  
 これにより作業時間短縮ができ、作業効率が向上した。

プロセス	使用機械等	従来	ICT	効果	評価
3次元起工測量	杭ナビ (今回購入)	5人・日	2人・日	-60%	期待以上の成果が得られた
3次元設計データ	サテック3D (今回購入)	14人・日	14人・日	0%	ソフトの使用に不慣れなため従来と変化なし
ICT施工	従来通り	-	-	-	-
3次元出来形管理	杭ナビ (今回購入)	3人・日	1人・日	-66%	期待以上の成果が得られた
合計	-	22人・日	17人・日	-23%	起工測量、丁法設置、出来形管理で期待以上の成果が得られた

## 発注者のコメント

今回購入した自動追尾型 T S（杭ナビ）を3次元起工測量および3次元出来形管理で使用することにより、現場での計測が従来よりスムーズに行うことができ、作業時間の短縮につながった。3次元設計データ作成は、今回が初めてということもあり、時間を要したが、ICTを活用したプロセスにおいて、23%の工期短縮が実現した。今後、3次元設計データ作成になれていくことで、更なる生産性の向上が見込める。